

教区報

2016
5月号
念仏のこころに
生きる生活を

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

◇教区役職者決定

新年度に入り、教区会をはじめ任期満了を迎えた各教化団体で、役員改選が行われた。

四月十八日、臨時教区会が開かれ、議長、副議長、常備委員（五名）、監査委員（三名）同日、組長会にて正副会長が選出された。

また、四月二十二日には、教区委員会（旧基幹運動推進委員会）が開かれ、西岡孝了教務所長が委員長に就任、副委員長二名と本山中央委員会委員（委員から一名）が選出された。その他、布教団（団長は教務所長）・仏教婦人会連盟の役員改選が行われた。

【教区会】議 長…岡西 法英（五位・教願寺）
副 議 長…松原 武（若神・大乘寺）
常備委員…畠山 遵（水波・明德寺）
佐々木秀誠（関野・得雄寺）
新川 春雄（新湊・聞光寺）
門田 忠行（射水・誓光寺）
弓部 裕明（氷見・明覚寺）
監査委員…二上 桂介（水波・専久寺）
山名 一徳（伏木・龍善寺）
土原 行晴（川上・高参寺）

【組長会】会 長…北鹿渡文照（氷見東・長福寺）
副 会 長…村上 喜文（水波・西養寺）
永生 眞成（川上・永念寺）

【教区委員会】

副委員長…津山 玄亮（糸岡・願称寺）

【中央委員会委員】

林 史樹（伏木・要願寺）
林 史樹（伏木・要願寺）

【布教団】副 団 長…安達 秀憲（川上・空泉寺）
立川 証（川上・浄教寺）

【仏教婦人会連盟】

委員長…元井 和代（若神・報谷仏婦）
副委員長…笹井真由美（水波・瑛能仏婦）
大場 洋子（関野・仏子仏婦）
初瀬部ちさと（糸岡・宝性寺仏婦）
書 記…杉原 郁子（砺波・光嚴寺仏婦）
前田さち子（氷見・氷見中央仏婦）
会 計…六浦 千春（伏木・伏木仏婦）
橋詰 照代（川上・信楽仏婦）
監 事…吉井 真美（新湊・新湊仏婦）
畑中 久子（氷見東組氷見東仏婦）

※詳しくは、六月発行予定の実践運動推進計画書をご清覧ください。

☆平成二十八年熊本地震への支援

五月六日、教区災害対策委員会の議を経て、教区会計より熊本教区宛、お見舞金三十万円をお届けいたしました。現在、各ご寺院宛に義援金の募集をお願いしております。
何卒、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

得度習礼講習会のお知らせ

この度、本年度の講習会を下記のとおり開催いたします。

「得度願」提出予定の方には受講が、原則、必須となっておりますので、講習内容の自己研鑽を含め、予めご準備よろしくお願いたします。

尚、詳細は教区報6月号に同封させていただきます。

記

1. 期日 8月25日（木）
～26日（金）
2. 会場 福光教堂
（南砺市福光974-2）

◆高岡教区仏教婦人会連盟総会開催

去る四月二十八日（木）、西本願寺高岡会館において教区仏教婦人会連盟総会が行われ、百七十三名の会員が参加した。

教区仏教婦人会では、今年度で役員改選を迎えるため、行事報告並びに決算報告の後に、役員人事報告があり、その場で石野順子委員長（川上組信楽仏婦）の退任と新委員長として元井和代委員長（若神組法谷仏婦）が先の常任委員会でも選出されたことが報告された。（役員人事についての詳細は別載）

また、今年度活動報告では、先月発生した熊本地震災害への対応の報告があり、今回は各単位会に義援金を募金することはせず、特別会計ダーナ会計より、義援金を支出する予定であることが報告された。この義援金は五月十一日開催の常任委員会に於いて協議、承認され次第、総会の会場内でご協力いただいた義援金九万七千三百六十七円と併せて、当該教区に寄付される予定である。

総会終了後の昼食休憩時間では、出し物としてのコーラス『瑠璃の響き』による讃歌指導があり、百七十名あまりの歌声が礼拝堂内に響き渡った。中にはこのコーラス指導を楽しみに来場されている方もおり、近年の総会の定番となっている。

午後からの記念講演会では、総連盟講師の田中信勝師（佐賀教区北山組最勝寺住職）による記念布教があり、「お念仏をよるこぶとは、どういうことでしょうか？」をテーマにお話された。

「人間の理性というものは自分で思っているよりも当てにならないもので、例えば、同じ三分間という時間であっても、苦しい三分は長く、心地いい時の三分は短く感じます」「これは万事においてそうであって、私たちは同じ物事に対してその時の状況や気分によって全く捉え方や印象が異なります」「それをご開山聖人は『そらごとたわごとまことあることなし』と押さえられました。私たち人間の理性というものは、すぐに本質を見誤り、ほんの小さな慈悲でさえ貫き通すことは甚だ難しいのです」「阿弥陀如来という仏は私たちと異なるただの絶対者として示された存在ではありません」「ウジ虫のように顧みられることのないものをも全て救いた

宗会議員選挙人名簿の縦覧について

中央選挙管理委員会において作製されました本年の宗会議員選挙人名簿（平成28年4月1日現在調査のもの）を4月30日付で各組組長事務所に送付いたしました。

つきましては、下記事項についてご留意いただきますようご連絡いたします。

記

1、選挙人名簿の縦覧期間は、平成28年5月15日より5月末日までの期間です。

2、縦覧者（選挙人）は名簿の選挙人押印欄に押印しないこと。

※押印した選挙人名簿は無効となり、選挙に使用できなくなります。

3、選挙人本人又は縦覧者が、選挙人名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、訂正の申し立てをすることができます。

※特に平成28年4月1日時点で既に死亡されている方が記載されている場合は削除の必要がありますのでご注意下さい。

※改姓・改名、所属寺変更、転入、転出については、平成28年4月1日時点でまだ手続きが完了していないものは、訂正の対象とはなりません。また、平成28年4月1日の時点で成人に達していない方も名簿に登載していません。

上記のことにご留意いただき、名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、縦覧期間内（5月15日から5月末日まで）に各組組長事務所までご連絡下さい。

以上

いと願ひ、力を尽くしたその仏を思うとき、そうではないどこまでも身勝手な自分の姿が照らし出されます」「人は本当に恥ずかしいと思つたなら改めます。難しいことではありませんが、少しでも阿弥陀如来のお心にかなう生き方をしようということを中心に掛けて歩むのが信心の行者、『念仏をよるこぶ人』という風に受け止めていきます」とお話しされ、聴聞した会員は深く聞き入っていた。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「よりどころ」とは？

震度七を二度にわたり記録した「熊本地震」発災から、まもなく一ヶ月が経とうとしています。私も熊本に友人や知人がおり心配しておりますが、その後、メールやSNSで無事が確認され胸をなでおろしました。

しかし、三週間経った今でも、度重なる余震と交通インフラの復旧の遅れから、被災地支援があまり進んでいないという報道に触れ、言葉に出来ないもどかしさを感じます。テレビをつける、大きくえぐれた山肌や道路、散乱したままの瓦礫や倒壊した家屋の映像に心が痛みます。まして、実際に現地の方々であればなおさらのことで、一刻も早く余震が収まり元の生活に戻りたいと、心の底から願っておられることかと思えます。その不安なお気持ちや先の見えない苛立ちのなかにおられる方々に思いを馳せる一方で、既に生まれつつある「復興の格差」、「支援」の手から取り残されてしまう、所謂「災害弱者」への今後の心配りが必要だと考えさせられるのです。それは元々、「地方」には高齢者や女性、子どもに関わる課題が多くあったなかで、「災害」によってこれらの問題がより加速するからです。「支援」によって、結果、格差を拡大させることはあってはならないことです。私たち宗教者の支援こそ、より「弱き立場の人たち」に向けるべきだと考えます。

それにしても、あの東日本大震災から僅か五年、この間も大きな風水害や火山の噴火などの自然災害が続発しています。多くの

方々が「この先、一体どうなってしまうのか？」という将来への不安や諦めを抱いているのではないのでしょうか？実は、そのような社会的不安が外国人やマイノリティへの差別や迫害に向かうという事象が、世界的・歴史的に発生しているのです。最近では、シリア難民への迫害がそうですし、日本においては「関東大震災（一九二三年）時の朝鮮人虐殺」が顕著な事例と言えるでしょう。災害や戦争の混乱のなかで生じるデマや流言によって、元々あった差別や偏見の心が膨れ上がり集団心理にまで拡大する。本質的な問題を逸脱して、非人権・暴力的な行動に走ってしまうのは、過去も現在も変わらない人類の行動パターンなのかも知れませんが、それでは「判っちゃいるけど止められない」（植木等）の姿そのものでないかと思わされます。

親鸞聖人が生きられた時代も大規模な災害や飢饉が数多く発生していますが、その様な過酷な社会状況のなかで「信心」の重要性を頭かにされ、回りの人々に説いていかれたそのお姿に、現代の私たちも学ばなくてはならないと思えます。いよいよ今月から二年間にわたって「第二期同朋運動推進者養成研修会」を開催いたします。この研修を通して、私たち自身が「教えをよりどころ」とし、「部落差別をはじめ、社会のさまざまな問題を、教えに基づき現実の苦悩に応えていく」ことを目指したいと思えます。皆さまのご参加を心からお待ちいたします。

【高岡教区教区主幹 浜野信宏】

◇これからの日程（5/21～6/21）◇

5月	
20	ビハーラ総会
22	フットサル全体会
23	養成研修会（同朋）
25	長寿苑ビハーラ活動
26	仏壮ブロック理事長会議
27	ヤスクニ委員会
30	寺院振興対策委員会
31	少年連盟総会・委員会
6月	
2	寺女役員会
3	雨晴苑ビハーラ活動
6	ご門主様ご巡回
9	講社総会
13	聖典セミナー（3回目）
14	常例法座
15	コーラス練習日

第25代専如ご門主様高岡教区ご巡回開催

2016（平成28）年6月6日（月）

- 井波別院 午前9時25分
お立ち寄り巡拝
- 福光教堂 午前10時30分
お立ち寄り巡拝
- 西本願寺 午後2時50分 記念式典
高岡会館 午後4時 記念行事
記念撮影

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

※ 一袋二枚入りで価格は次の通り

- ・特大箱（175袋） 8,300円
- ・大箱（36袋） 2,300円
- ・1組（10袋） 500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel.(050)5587-7708(代表)

Fax.(0766)21-5152

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎5/21（土）：玉井 明子 氏

（奈良県・西教寺）

「ともに描くよろこび」

□5/22（日）：竹中 了祥 氏

（富山教区・妙順寺）

◎5/28（土）：玉井 明子 氏

（奈良県・西教寺）

「『ありがとう』と『ありがとう』のご縁」

◎6/4（土）：高橋 一仁 氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「未 定」

◎6/11（土）：瓜生 智子 氏

（「他力本願.net」スタッフ）

「未 定」

□6/12（日）：山岸 智史 氏

（高岡教区・珉照寺）

◎6/18（土）：高橋 一仁 氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「未 定」

【西本願寺高岡会館6月の常例法座】

ご講師： 小 滝 信 生 氏

（ 大 阪 教 区 ）

ご講題：『今を生きる教え』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。